

聞思

今号の法語

怒りや腹だちは
他人からもらうのではなく
自分自身の心から生じる
寺川鶴芳

発行所 光山寺
〒758-0063 大宇山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

伝灯奉告法要 萩組団体参拝募集はじまる

平成28・29年にわたって、十期八十日八十座(一日一座)の第25代専如ご門主の伝灯奉告法要が修行される。萩組では、ご本山での法要期間のうち平成二十九年三月二十八日(火曜)に団体参拝と決まり、前日の二十七日(月曜)から一泊二日の団体参拝旅行の募集が始まった。

今回は、初日にあべのハルカス、落語家と行く「なにお探検クルーズ」、神戸南京町散策、神戸泊、二日目はトロッコ列車、嵐山散策、法要参拝、帰路となります。(詳細は別紙申し込みチラシをご覧ください)申し込み締め切りは十月末日迄で、団体参拝旅行の募集人数は萩組全体で百二十名なっています。団参予定の方は早めに申し込みください。尚、法要期間に個別の参拝も可能です。詳しくはホームページをご確認、または問い合わせください。

仏教婦人会バザーに関する報告

光山寺仏教婦人会会長、河村一江さんより、去る六月二十五日(土曜)・二十六日(日曜)に開催された光山寺仏教婦人会法座におけるバザー(十八回目)の報告を頂きました。「永年やつておりますと、バザーの品物はでるだらうかと、まず心配になります、皆様のおかげで品物も少なくなく、多くのご協力をいただきました。五月の連休明けから恒例の「橙菓子、マーメイドと会員の皆様のご協力により沢山の物品を作ることが出来ました。お天気にも恵まれ上々の出来具合でした。いつも手作りのパン・ケーキ・ワッフル・カキモチを始め、手芸作品も沢山出品いただきました。今年は野菜のでも悪いように聞いていたのですが、立派な胡瓜・玉葱・茹など本場に沢山の品物ありがとうございました。今年のバザー収益金は十六万三千九百円でした。この中より熊本地震災害義援金として、本堂に設置していただきました募金箱と一緒に十万円を送金させていただきました。本当に感謝しかありません。ありがとうございました。合掌」

夏休みキッズサンガで今年も素麺流し

毎月第三土曜日午前九時より開催しています土曜学校。夏休みは、子どもを中心とし、保護者や仏教壮年会・仏教婦人会など世代を超えた行事「キッズサンガ」として開催し、お寺に足が向くようにと気運を高めています。平成二十一年年より夏休み子ども早起き朝食会を拡大して開催してきましたが、昨年度より昼食会というかたちで開催しています。今年度は十時半からの勤行に続き、清掃作業、そして多くの父兄の方々も参加されたソーメン流しとなりました。企画に際しては、総代会・仏教壮年会・仏教婦人会の皆様のご協力をいただきました。特に、竹の切り出しなど、猛暑の中を仏教壮年会有志の皆様には大変ご苦労さまでした。また、婦人会の皆様にはソーメンをはじめ、美味しい食事を準備いただき、大変に有り難うございました。尚、萩組夏休み子ども一泊合宿が七月二十三日・二十四日に萩幼稚園を会場に開催され、光山寺より十三名の参加がありました。



新しい法務員さんのご紹介

法務員としてお手伝いいただいている真光寺さん、随応寺さんに加えて、本年六月より新たに長門市三隅町の徳照寺の若院である青山研さんに光山寺法務員としてお手伝いをいただくこととなりました。主に平日の木曜日・金曜日を中心にお手伝い頂く予定です。ご門徒の皆様には最初は不慣れで、ご迷惑をお掛けする事もあるかと存じますが、どうぞご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



今年も富くじ抽選会(第四回)

光山寺では大晦日の午後十一時四十分より毎年除夜の鐘をついています。この除夜の鐘の後にお正月の最初のお勤めである修正会(元旦会)が本堂にて勤修されます。多くのご門徒の皆様と新しい年の最初のご縁にあらう法会です。一人でも多くの方にこの法会に参加して頂きたいの思いから、修正会終了の午前一時より、本堂にて「新年お楽しみ富くじ抽選会」を開催しています。ただし、富くじ番号札配布は大晦日除夜の鐘の除夜の鐘をつきにきた方、一人に一枚のみのお渡しとなります。(無料、鐘がつけるのは百八番目まで、番号札はそれ以上あり豪華賞品を用意していますが、抽選時不在の方には商品獲得の権利がありませんので、修正会には必ずご参加ください。

光山寺行事案内

平成二十八年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要関連

- 九月二六・二七日(月・火曜) 秋季永代経法要(講師、名古屋宗味師)
- 十二月二八・二九・三〇日(月・日・水曜) 報恩講法要(講師、福田康正師)
- 十二月三十一日(土曜) 除夜会・修正会・富くじ抽選

★山口教区・萩組関連

- 九月二八日(水曜) 連研(真覚寺)
- 十一月十三日(日曜) 連研(浄国寺)
- 十一月二五日(金曜) 山口別院帰敬式は今年はない
- 十一月二六・二八日(土・月曜) 山口別院報恩講法要(山口別院)
- 十二月 三日(土曜) 山口教区子ども報恩講および寺コン
- 十二月〇日(日曜) 萩組教化組織懇談会(未定)
- ★子ども会(土曜学校) 関連 午前九時(本堂)
- 十月十五日(土曜) 十一月十二日(土曜)
- 十二月 三日(土曜) 一月未定日 ※子ども報恩講

★仏教青年会関連

- 十二月三十一日(土曜) ※除夜会・修正会・富くじ抽選
- ★仏教壮年会関連
- 十月 二日(日曜) 午後二時 光山寺ソフトボール大会
- 十一月二九日(火曜) 午後七時 報恩講夜座(本堂)
- 十二月二四日(土曜) 午後六時 光山寺仏教壮研修会・忘年会

★仏教婦人会関連

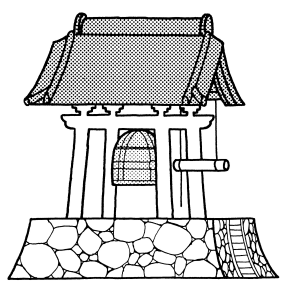
- 九月二四日(火曜) 午前八時半 秋季永代経の清掃・荘厳
- 十一月二六日(土曜) 午前八時半 報恩講の清掃・荘厳
- ★親鸞聖人讃仰会 午後八時(本堂)
- 十月十七日(月曜) ※本年最後

★礼讃の夕べ(旧、正信偈唱和会) 午後八時(本堂)

- 九月十日(土曜) 十月 八日(土曜) ※本年最後
- ★雅楽練習会 午後七時半(庫裡)
- 九月十九日(日曜) 十月十六日(日曜)

★仏教讃歌コーラス練習会 毎月第三木曜日(本堂)

- 九月八日(木曜) 十月十三日(木曜) 午後八時
- ※雅楽・コーラスは新規参加者募集中。気軽にお問合せください



募券集・お知らせ

■報恩講夜の座

光山寺の報恩講日程は毎年十一月の二十八・二十九・三十日の三日間の固定で、朝・昼の合計六座の法座がもたれています。日程の関係上、仕事などで聴聞ができにくい方々のために、二十九日には夜の座が開かれています。今年の報恩講ではこの夜の座が十一月二十九日午後七時より開かれます。講師の先生は、子どもにも分かりやすいお話をしていただけるかと思えます。また、この夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が開かれる関係から三十日は午前中にて満座終了となります。また、夜の座が仏教壮年会の研修をかねているので壮年の方々は万障繰り合わせの上お参りください。

■冬の児童作品募集

本願寺では毎年一月九日から十六日までの間、親鸞さまのお徳をたたえるところにも、ご苦労を偲ばせていただく「御正忌報恩講法要」が勤まります。例年、この法要期間中に「全国児童生徒作品展」を開催されますが、今年度は「伝灯奉告法要記念」として児童・生徒作品展が募集され、法要期間中に展示されます。応募作品は三部門ごとに「幼児・小学生各学年・中学生各学年にわけて審査され入選作品は本願寺で展示され、最優秀賞は本願寺に招待されます。私たち一人ひとりが仏さまのみ教えの中で育てられ、生かされている喜びを、尊いご縁に出会えたよろこびを作品に表してみましよう。たくさんのお友達をさそって、みなさんの得意な部門に出品してください。

【作文】

テーマ (一) 私の喜びと悲しみ

(二) 私の感動したこと

(三) 私の願う未来

上記三つの中から一つのテーマを選んで、題名は課題にそって自由につけてください。縦書400字詰原稿用紙2枚以内(800文字以内)

※原稿用紙の欄外に「題」、「学校名」、「学年」、「氏名・ふりがな」を必ず明記してください。題名や名前は字数にカウントしません。

【絵画】

課題はありませんので自由に描いてください。(A3・A4・A5・版画も可)。四切(38cm×54cm)以内(作品が小さい場合には、上記サイズの台紙に貼ってください。全学年共通)。名札を作品下部中央につけてください。

表現素材は、水彩絵具・パステル・クレヨン・カラーペン・色紙等、色々な身近素材。

【自由画】

幼児⇒自由に書いてください(ひらがな一字に限る)。

小学1年生⇒「なも」

小学3年生⇒「ひかり」

小学5年生⇒「伝える灯」

中学生⇒「一念喜愛心」

小学2年生⇒「いのち」

小学4年生⇒「ともしび」

小学6年生⇒「豊かな心」

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

萩こころの電話(三分間法話) 0255-77710

西本願寺の時間(KR Yラジオ) 毎週日曜日午前六時から十分

※小中学生は学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。正しく姓名を記入されていない場合には審査の対象外となります。幼児の名前の書き方は自由です。規格は、園児・小学生半紙(タテ33cm×ヨコ24cmに限る) 書体は楷書。中学生、画仙紙半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨコ17.5cm) 書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。

表彰

小・中学生の各部門入賞作品を表彰いたします。

「最優秀賞」各部門各学年一名(賞状・副賞)

「優秀賞」各学年三名(賞状・副賞)

「入選」各学年若干名(賞状・副賞)

※応募は各部門一人一点に限りです。平成二十八年に書かれた未発表のものに限りません。

出品方法 十一月二十五日までに光山寺迄お届けください。作品は返却いたしません。

※山口別院作品展については別紙案内をご覧ください。

■光山寺仏教讃歌コーラス参加者募集

光山寺仏教讃歌コーラスは、平成三年四月に結成以来二十五年間、仏教讃歌を通しておみのりに遇わさせていただき、「お言葉の美しさ、こころのハーモニを醸し出す」ことを目指して活動しております。来年七月八日には山口教区仏教賛歌コーラスの集いも萩市民館にて引き受け予定です。参加者も次第に増えていきます。どなたでも参加できますので、みなさんも一緒に歌ってみませんか。



①練習は毎月一回で、発表は婦人会法座などで行っています。

②萩組のコーラスにも加わって、萩組お待ち受け法要などに参加させていただきます。

③指導して下さる方は、萩市三見明石の山中先生です。

■募金箱報告

WWF J(世界自然保護基金日本委員会)の募金箱(焼香机よこ)に集まった募金一万三三八八円を八月三十日に送金いたしました。沢山の募金大変に有り難うございました。WWF Jは、東日本大震災前より日本のエネルギーの未来を変えるために、環境保全の視点を政策に、現実的・具体的な道を描く、政府案に対する代替案を出す、温室ガスの削減目標を求める、既成概念を変えていく、エネルギーへの関心を高めるなどの活動を積極的に行っています。

■新発意進学

若院の長男、悠君がこのたび大学生となり、首都大学東京(旧、東京都立大学)システムデザイン学部航空宇宙システム工学に進学しました。また、中央仏教学院(通信教育)にて仏教・真宗も学ぶことになっていきます。

■仏教豆辞典

『仏教用語豆辞典一〇〇』本願寺出版部より

【瓦】かわら

この「瓦」は、インドの語「カパーラ」を音訳したもので、日本へは、飛鳥時代に中国から百済を経て、仏教伝来とともに伝えられ、寺院の屋根に用いられました。

当時の記録によると、「百済から瓦博士が来た」とか、「瓦葺きといえは寺院を意味した」とか伝えてあります。寺院建築用だった「瓦」は、やがて官庁や民間にも普及していったのですが、その製造技術も中国に劣らないものとなりました。

【祇園】ぎおん

京都の三大祭りの一つ、祇園祭りは、華麗な山鉦巡行でにぎわいます。祇園といえは、だらりの帯の舞妓さんを連想したり、『平家物語』の一節を思い浮かべたりする人もいることでしょうか。

インドの舎衛城に一人の富豪がいました。孤独な人を哀れみ施しをしたので、給孤独長者と呼ばれていました。長者はお釈迦さまに深く帰依し、寺院を寄付したいと捜しまわって見つけた土地が、祇陀太子の土地でした。太子は、土地に金貨を敷つめたら譲ろうと、冗談で言ったところ、長者はその通り実行し始めたので、太子は驚き長者の熱心さにうたれ、土地を譲り、自らも樹木を寄付して寺院建設に協力しました。この由来から、寺院は両者の名をつけて「祇樹給孤独精舎」、略して祇園精舎といいました。

京都の祇園は、平安時代に藤原基経が牛頭祠を建て、祇園精舎の故事にちなんで祇園社と名づけたところから始まったので

【機嫌】きげん

「ごきげんよう」「機嫌をとる」「機嫌をなおす」「ご機嫌いかがい」とか「坊やはご機嫌ななめ」などと、機嫌は気分の上しあしを言う日常用語として、一般によく使われています。

機嫌は機嫌と書き、仏教語でした、機嫌とは、機嫌は「そしる」、嫌は「きらう」という意味ですから、他人のそしりきらい(こと、世の人たちが嫌悪することをいいます)。

仏教の戒律の中に、機嫌戒といういましめがあります。これは行為がそれ自体は罪悪ではないが、世の人たちからそしり嫌われないために制定されたそうです。人が不愉快に思うことはいない、という戒律でしょう。

「機嫌を譲る」という語句も仏典にあります。他人のそしり嫌うことをしないという意味で、現在用いられている機嫌をとると同じだということです。仏教語が一般に使われ気分とか心待ちの意味に変化していききました。